

## 2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	高齢化社会の住まいと地域環境 (Housing and Community Environment in aging society)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	足立 啓、村田 順子、堀田 祐三子		
開講	岸和田サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回	4月12日(土) 13:00~17:00	担当: 足立
	第2回	4月19日(土) 13:00~17:00	担当: 足立
	第3回	4月26日(土) 13:00~17:00	担当: 村田
	第4回	5月10日(土) 13:00~17:00	担当: 村田
	第5回	5月31日(土) 13:00~17:00	担当: 堀田
	第6回	6月7日(土) 13:00~17:00	担当: 堀田
<p><b>【授業のねらい・概要】</b>          日本の高齢化率(高齢者人口の総人口に占める割合)は24.1%、年少人口の割合は13%と、少子高齢化が進行しています。今後は人口減少も進むことが予測されており、日本はこれまで経験したことのない超少子高齢社会を迎えることとなります。その兆しは、様々なかたちで私たちの暮らしのなかにすでに現れつつありますが、社会の仕組みは、そうした兆しにすら対応したものになりえていないのが現状です。          本講では、現在の住まい・居住環境の現状について、建築・都市計画的視点および福祉的視点からその問題点と対応策を論じ、高齢期の住まい・居住環境のあり方、さらには少子高齢化社会における都市・住宅政策のあり方について展望します。</p> <p><b>【授業計画】</b></p> <p>第1回 はじめに：高齢化社会の諸相 福祉のまちづくりの系譜：バリアフリーとユニバーサルデザイン</p> <p>第2回 地域福祉計画に基づく地域づくり 認知症の人が安心できる生活環境の整備</p> <p>第3回 要介護期における在宅生活の課題 在宅生活の継続を阻害する要因について考える</p> <p>第4回 高齢期の生活を地域で支える 事例から考える生活支援のあり方～公助・共助・自助・互助～</p> <p>第5回 高齢化・人口減少と日本の住宅・都市問題</p> <p>第6回 まちの持続可能性～人口減少期の都市・住宅地のあり方を考える</p> <p><b>【到達目標】</b>          高齢期の住まい・居住環境、および都市・住宅政策についての基礎的な知識の習得と、そのあり方についての基本的視角を得ること。</p> <p><b>【教科書】</b>          特に指定しない。</p> <p><b>【参考書】</b>          「これからの住宅計画」(仮) 堀田祐三子・近藤民代・阪東美智子(編著) 朝倉書店(2014)(堀田担当)          その他、授業時間内に適宜紹介します。</p> <p><b>【授業時間外学習】</b>          新聞や国交省・内閣府等のHP等を利用して、高齢者の住まいや地域環境に関する情報を収集し、それらの問題についてどのような議論や対策が行われているかを調べてください。復習については、授業時間内およびシラバスに提示された参考文献等を利活用してください。</p>			